

日田市中心市街地地区 (2 期)

(大分県日田市)

- 計 画 期 間 平成 23 年度～27 年度
- 面 積 323.3ha
- 交付対象事業費 951.1 百万円
- 市人口 71,708 人 (地区内人口 20,918 人)

ポイント 歴史・観光を切り口に、豊かで特色ある地域資源を活かした中心市街地の賑わいの創出。

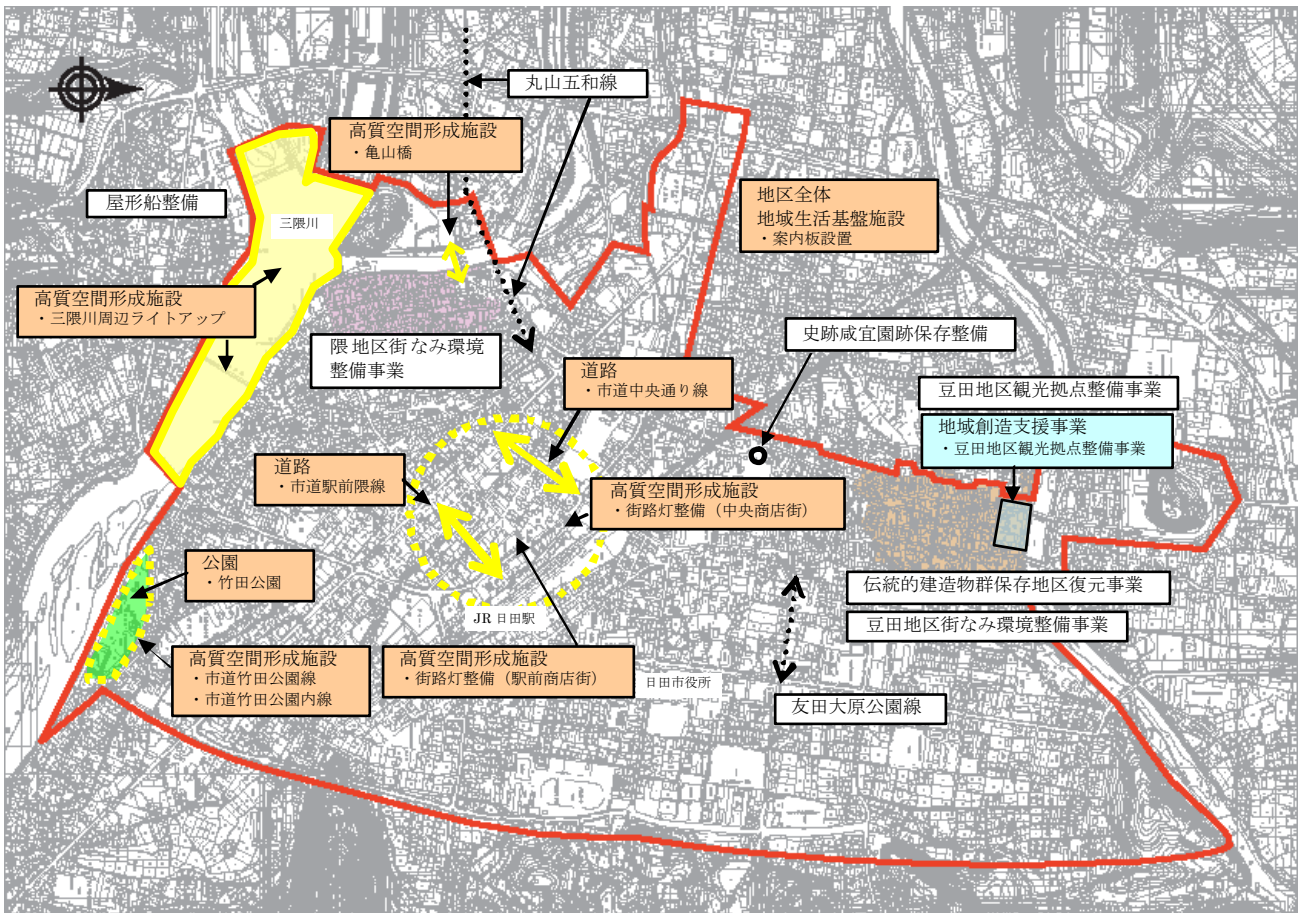
地区概要 道路、公園、ライトアップ、街路灯の整備、豆田地区観光拠点整備事業等や国・県等の関連事業と一体的な整備を行い、中心市街地の再生及び魅力の強化を図る。

目 標 温泉街や三隈川などの地域資源が豊富な限地区の再生及び歴史・観光拠点としての豆田地区の魅力強化を図る。

指 標 「歴史・観光拠点」としての環境整備を行うことにより、日田温泉の宿泊客数の減少抑制及び豆田地区への来街者数維持を目標とした。

日田温泉の宿泊客数	77,718 人/年 (H21)	→	70,000 人/年 (H27)
豆田地区への来街者数	592,134 人/年 (H21)	→	600,000 人/年 (H27)

事業内容 基幹事業 (922.8 百万円) → 道路 (幅員 16.0m～25.0m、延長 490m)、公園 (1カ所 21,500㎡)、案内板設置 (20カ所)、橋 (延長 65m)、ライトアップ (1カ所)、公園線 (延長 950m)、街路灯整備 (135基)
 提案事業 (28.3 百万円) → 豆田地区観光拠点整備事業、事後評価



地区の現況と課題

中心市街地は、三つの区域（中央・豆田・隈）で形成されており、交通・商業・文化機能が集積した市民生活の拠点地区である。平成 17 年度～平成 21 年度にかけて、まちづくり交付金を活用して各種施設整備や咸宜園教育研究センター整備事業など歴史的町並み景観の形成と拠点整備により、豆田地区では観光客の増加が図られたが、中央・隈地区への回遊が図られず、総合的なまちづくりが引き続き求められている。

基幹事業の特徴

道路

歩行者や自転車等が、快適に中心市街地を回遊できるように道路の整備を行う。

公園・ライトアップ

隈地区を流れる「水郷ひた」の象徴である、三隈川を活用したライトアップ（光の演出）と三隈川沿いに位置する竹田公園を一体的に整備することにより、新たな賑わいの創出を促進する。

街路灯

豆田・隈地区の間に位置する中央地区は、土地区画整理事業等により街並みが整備され、賑わいを見せてきたが現在空洞化が進んでおり、街路灯の整備により他地区からの回遊性を促す。

案内板

歩行者や自転車等が快適に中心市街地を回遊できるように、統一した案内板整備を行う。

提案事業の特徴

豆田地区観光拠点整備事業

天領時代に町人地として発展した豆田町とその周辺は、往時の地割りをよく残し、伝統的な建物が群として良好に残っていることから、平成 16 年に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、歴史的な街並みを活かしたまちづくりが展開されている。地区内に残る歴史的建造物群（地域資源）を活用し、美術館、文化・歴史ミュージアム等の整備を行い、豆田地区の更なる魅力強化を図る。

事後評価

事業最終年度に、計画時に設定した指標の達成状況等を検証して今後のまちづくりのあり方を検討する。

計画策定プロセス

中心市街地の活性化に向け事業展開を行った、都市再生整備計画（日田市中心市街地地区）第 1 期計画の事後評価を踏まえ、残された課題と新たな課題を解決するため、庁内の関連部署や地元商店街、観光協会等と協議・検討を行い、第 2 期計画を策定した。



▲ 観光客で賑わう豆田地区

【重要伝統的建造物群保存地区】



▲ 『水郷日田』三隈川が流れる隈地区

【日田川開き観光祭】



▲ 三隈大橋のライトアップ（イメージ）



▲ 街路灯の整備（イメージ）